

情報通信審議会 情報通信技術分科会 陸上無線通信委員会
第7回 5.2GHz帯及び6GHz帯無線LAN作業班
議事概要(案)

日時:令和5年1月30日(月) 10:00～11:40

場所:Webによる開催

主 任 : 梅比良 正弘
主 任 代 理 : 村上 誉
構 成 員 : 足立 朋子、石田 和人、井原 伸之、大島 佳介、大濱 裕史、
木村 亮太、黒澤 稔、小橋 浩之、小林 佳和、鷹取 泰司、
城田 雅一、柿木 誠二、成清 善一、成瀬 廣高、
西村 健二(船井構成員代理)、菱倉 仁、平松 正顕、福家 裕、
藤本 昌彦、星 洋一(田中構成員代理)、本間 忠雄、前田 規行、
三島 安博、柳下 勇一、安江 仁、柳澤 尚紀
説 明 者 : 電波技術協会 高橋 史昭
事務局(総務省): 荒木 基幹通信室長、石黒 課長補佐、横出 主査、榎本 官
瀬田 電波環境課 電波環境推進官

1 配布資料

議事次第

- 作業班7-1 5.2GHz帯及び6GHz帯無線LAN作業班(第6回)議事概要(案)
- 作業班7-2 諸外国及びIEEE標準化動向
- 作業班7-3 6GHz帯のSPモード利用の共用検討状況について
- 作業班7-4 狭帯域(ナローバンド)システムの共用検討状況について
- 作業班7-5 5.2GHz帯自動車内無線LANの見直しについて
- 作業班7-6 技術基準の見直しの方向性について
- 作業班7-7 2.4GHz帯無線LAN等の試験方法の見直しにおける論点整理(案)
- 参考1 5.2GHz帯及び6GHz帯無線LAN作業班 構成員名簿

2 議事概要

(1) 開会

(2) 総務省挨拶

(3) 議事

- ① 5.2GHz帯及び6GHz帯無線LAN作業班(第6回)議事概要(案)
事務局より資料「作業班7-1」に基づき説明が行われた。
- ② 6GHz帯標準出力(SP)無線LANの導入に向けた検討
電波技術協会より資料「作業班7-2及び7-3」に基づき説明が行われた。
- ③ 狭帯域(ナローバンド)システムの導入に向けた検討
事務局及び三島構成員より資料「作業班7-4」に基づき説明が行われた。

質疑において、城田構成員より、固定局と固定衛星向けの検討結果の資料について、既存免許人と共用可能という判断になったことを意味しているものか、それとも計算の結果を示しているものかという質問があった。それに対して三島構成員より、計算の結果を示しており、共用の可能性については被干渉システム側から回答をいただくことになることと認識しているが、現時点では懸念事項はないものと認識しているとの回答があった。

梅比良主任より、現在のナローバンドシステムと無線LANとの共用検討状況について質問があった。それに対して三島構成員より、有識者と議論を始めており今後の進め方については事務局と相談の上で進めていくとの回答があった。

福家構成員より、SPモードについてはAFCシステムの導入を前提とした共用検討を進めているが、今回のナローバンドシステムの検討にあたり、ナローバンドシステムが入ってきたときのSPモードとの共用検討の関係性についての意見を聞きたいとコメントがあった。それに対して事務局より、SPモードに関してはシングルエントリーモデルで場所ごとに送信電力等の検討を行うものと認識しているとの回答があった。また、梅比良主任より、明確な検討の方向は決まっていないが、SPモードの共用については、VLP、LPI及びナローバンドシステムの全てが含まれる場合の何らかの検討が必要と考えるとのコメントがあった。

④ 5.2GHz帯自動車内無線LANの見直し検討

事務局より資料「作業班7-5」に基づき説明が行われた。

菱倉構成員より、グローバルスターとは適時検討状況を共有しており、資料に記載のとおり、前回干渉検討の中で持ち込まれた移動機は200mWで運用する条件で共用検討しているので、共用可能と確認済みであると報告があった。

梅比良主任より、共用検討にあたり既存無線システムの関係者には確認するのか質問があり、事務局より、既存免許人の方々に確認いただく予定と回答があった。

⑤ 2.4GHz帯無線LAN等の技術基準見直しに向けた検討

事務局より資料「作業班7-6及び7-7」に基づき説明が行われた。

⑥ その他

事務局より、今後の進め方及びスケジュールについて説明が行われた。

(4) 閉会